

7月医療安全ニュース

2018年7月25日 あおもり協立病院 医療安全管理室

DIB（ディブ）キャップをご存知ですか？



尿道留置カテーテルの接続部にディブキャップという「蓋」をする事で入浴時や外出時に採尿袋を付けなくても良い、採尿袋がない事で見た目もスッキリしている。手順も簡単なのでカテーテルを離脱していくための膀胱訓練として取り入れている施設もあります。しかし、デメリットもあります。

ディブキャップはマグネットなので **MRI 検査の時は取り外さなくてはなりません**。先日、当院で MRI 検査時に放射線技師が何気ない会話の中から患者様がディブキャップを使用している事に気づきました。患者様は私服だったので見た目はズボンの中に留置カテーテルが入っていたので分かりにくかったそうです。会話の中からリスクを感知して回避できたのは素晴らしいですね。



今後も装着する患者様が増えていくかもしれないディブキャップの紹介でした。

財団法人 日本医療機能評価機構では

MRI 検査室には患者及び医療従事者が磁性体（金属製品など）を持ち込まないことの徹底が必要と提言しています。